

平成 25 年度（②鶴見小） 環境教育出前講座「みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた」の実施報告

はじめに

●平成 24 年度から実施している「地球温暖化と交通」に関する環境教育出前講座について、本年度は全 3 校で実施します。本資料はこのうち、10 月 29 日に開催した鶴見小学校での実施報告です。

1 出前講座の概要

●鶴見駅から約 700m 東側に位置する横浜市立鶴見小学校(鶴見区)の 4 年生の総合学習の授業として、交通手段の選択と地球温暖化との関係を学習する授業を行いました。

テーマ みんなで考える 地球にやさしく ヒトにも便利な かしこい移動のしかた
目的 地球温暖化のしくみや、交通手段の選択と温室効果ガスの関係を学ぶとともに、グループワーク（以後GW）を通じてみんなで考える。
実施日 平成 25 年 10 月 29 日（火）
 5 校時 13:40~14:25 座学
 6 校時 14:30~15:15 グループワーク
対象者 鶴見小学校 4 年生（1 クラス）

【鶴見小学校の位置と交通の特徴】

●鶴見駅から約 700m に位置する、横浜市街地方面、東京方面ともにアクセス性が高い地区



2 出前講座の内容

- 出前講座では、「①交通手段の選択と地球温暖化との関係を学ぶ」、「②自分たちの日常生活の中での“かしこい移動”を考える」ことを目標に、以下の内容で授業を行いました。
- また、ご家族の方と一緒に移動について考えていただくため、複数の移動経路（電車やクルマなど）がある目的地までの移動時の費用や二酸化炭素量を計算し、その結果を見たうえで経路を選んでもらう【宿題】を出しました。

座学 交通手段と地球温暖化との関係を学ぶ

内容 パワーポイントを用いて座学を実施
配慮点 子供たちが自ら参加する雰囲気をつくるため、授業途中でのクイズや、自分の考えを発言する機会を多く設けています。
教材 座学用冊子（A4 版 12 ページ）



GW おつかいに行くときの「かしこい移動」を考える

内容 身近なお店に、指定の“おつかい”に行く際の“かしこい移動”を考える GW を実施
配慮点 大きな地図や、おつかい内容・交通手段のカードを事前に準備し、子供たちが自分で交通手段を考え、その内容が地球環境にどのような影響を及ぼすのかを考えることに注力できるよう配慮しました。

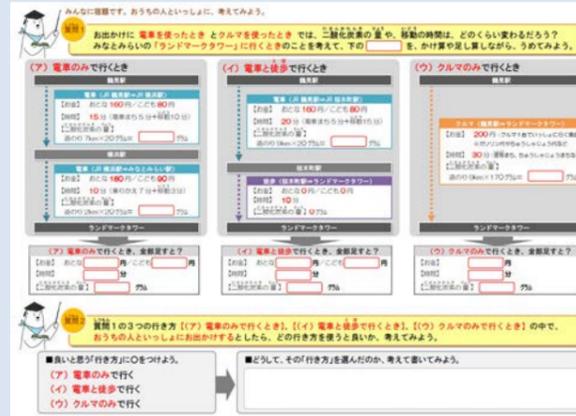
また、お年寄りや車いすの方など、子供たちに同行する人の条件を設定し、条件により移動のしかたをどう変えるのか、考える機会を設けました。

- 教材**
- ①グループワーク解説書(A4 版 13 ページ)
 - ②書き込み用地図(A1 版：下図参照) 「おつかいに行くときの移動のしかた」
 - ③おつかいカード(シール式)
 - ④同行者カード(シール式)
 - ⑤交通条件カード(シール式)
 - ⑥交通手段カード(シール式)



宿題 みなとみらいまでの行き方と選択

内容 移動について家庭で考えてもらう宿題
配慮点 みなとみらいを目的地として、移動手段の選択を、大人の方とともに考える宿題としています。



3 出前講座の結果

■座学では..

- 今回の授業は4年生を対象としたため、「地球温暖化」「二酸化炭素」などを、これまでの授業で学習しておらず、内容までは詳しく知らないものの、**多くの子供たちが地球温暖化という言葉を知っている」「聞いたことがある」と答えました。**
- 子供たちに、電車やバスの利用状況を聞いたところ、**電車については多くの子供たちが乗ったことがある**と回答していたのに対して、バスは若干反応が低く、すぐ近くに駅がある地域の暮らしの中では、**バスを使う機会は少ない**ようでした。
- 一方で、自転車については、多くの子供たちが利用していると回答し、日常的に使われている状況が確認できました。ただし、一部の児童から**事故にあった、迷子になった、などの言葉**も聞かれたことから、**環境面での自転車の重要性は高いものの、子供たちの自転車利用には危険も伴う**ことが浮き彫りとなりました。

■グループワークでは..

- グループワークでは、わずか数km 圏内のおつかいでも、「環境にやさしい動き方」や「お金を使わない」など、**色々な目標に合わせた交通手段を選択**していました。
- 特に郊外型ショッピングセンターを目的地の一つに設定したため、お年寄りや車イスの人と一緒に場合は途中でクルマを使うなど、**一緒に行く人に合わせた行動を選ぶ**グループも見られました。
- 出前講座の目的である【かしこい移動】とは、必ずしも**「二酸化炭素を出さない」ということに固執せず**、おつかいの内容や、一緒に移動する人の状況などに合わせて、**電車も、バスも、クルマも、自転車も上手に組み合わせて使う**ことを言います。
- 今回、子供たちが自分たちで「移動のしかた」を考えたとき、**各グループでそれぞれの想いをもち、色々な手段を提案してきたこと**は、今回の出前講座の趣旨を伝えられた結果であると考えています。



車いすの人と一緒に出かけることから、安全性を考えてクルマを使う提案です。



「できるだけ環境にやさしい」移動が条件ですが、お年寄りと一緒に移動するため、徒歩や自転車を使わず、公共交通で移動する提案です。

4 出前講座の実施結果を踏まえた今後の進め方

■教員からの評価

- 出前講座を終えたのち、教員の先生よりいただいた「ふりかえりアンケート」は以下の通りでした。
- 総じて高評価を頂いていますが、**「地球温暖化」や「二酸化炭素」などは学習前の内容**であることから、具体例をあげるなど、**子供たちが実感できる伝え方を考える**必要があったと思います。
- また、座学の中で、子供たちの興味が**「自転車での体験談」に“脱線”**したこともあり、色々な交通について興味を持ってもらうことには効果があったと考えますが、**「環境を考える出前講座」としては、時間配分、話す順序などを検討する余地**があると考えます。

	得点	ふりかえりアンケート
①目的やねらいの受講者・講師間での共有ができていたか？	5	何度も学校へ足を運んでいただき、子供たちの実態にあった授業プランを考えていただきました。打合せも詳しく丁寧にいただき、ありがとうございました。
②受講者の興味を引き出すことができていたか？	4	難しい言葉もかみくだき、分かりやすく説明していただき、良かったです。前半は子供も緊張しているので、もっとクイズや質問を入れて興味を引き付けてもいいのかなと思いました。また、もう少し二酸化炭素についてどういうものか、例をあげて説明したら、子供も身近に感じる事ができたと思います。
③事前に設定した環境教育の目標が達成できたか？	4	途中、自転車での話に話がそれて、子供はそっちで盛り上がりすぎてしまったので、もう少し時間配分を考えて「環境」に話を絞ると良かったのかなと思います。
④学習活動や環境教育の推進に役に立ったと感じるか？	5	“地球温暖化”という言葉だけ知っていた子がほとんどでしたが、しっかりと中身について理解することができ、来年の学習に生かせると思います。また、子供の感想から「これから移動のときには、環境も考えて選びたい」という声や、「もっと日常生活の中で、環境問題について考えていきたい」という声もありました。

■今後の進め方

- 座学については、「バスに乗ったことがある?」「自転車でどこに行った?」などの問いかけには、子供たちの反応が良いことから、子供たちの興味の持ち方を見ながら、早い段階で上記の問いかけを入れるなど、**子供たちの興味を惹くための授業のポイントのまとめを検討**していきます。
- グループワークについては、各班内で意見の食い違い（クルマを使うか、バスを使うかなど）が出てきた場合、子供たちの議論が平行線で収束しないケースが見られました。その場合の講師の対応の仕方を統一しておく必要があるため、**想定される質問や状況の対応のポイントのまとめを検討**していきます。

改善の取組① 座学での「子供たちの興味を惹く」ためのポイントまとめ資料の作成

- 子供たちの興味が向いていない場合について、**子供たちが自らの経験を発表できるような「質問」***を設定し、子供たちの興味の状況に応じて使うための授業のポイントを整理します。
- ※ 「いつもどこにお買い物に行くの?」「子供たちだけで自転車でお出かけしたことある?」など

改善の取組② GWでのグループ内議論の調整方針などのポイントまとめ資料の作成

- 子供たち同士の話し合いが平行線になったときに、**講師の視点でどのように「話し合いを収束」させるのか**等、**想定される状況への対応・調整の方針のポイント**を整理します。